

■特別展関連イベント■

●特別展記念菌類学セミナー

特別展に合わせ、各分野からの研究者、第一人者による講演会をひらきます。全4回を予定しています。

場 所：自然史博物館 講堂
参加費：無料（博物館入館料必要）
お問合せ：植物研究室 佐久間
お申込み：不要

①食用きのこ栽培の最前線

ホンシメジやバカマツタケなど、これまで栽培ができなかったきのこが様々な工夫によって栽培できるようになってきました。何が難しいのか、どうやってできたのか、第一線で研究するお二人をお招きし最近の状況をお聞きします。

日 時：7月21日（土）午後1時30分～3時30分
講 師：山田明義氏（信州大学）
河合昌孝氏（奈良森林技術センター）

②座談会：きのこブームは本物か？

フクオカきのこ大祭などきのこをテーマにしたイベントが各地で開催されています。自らきのこ生産者であり、これらのイベントの仕掛け人である川村倫子さん、「いきもにあ」に事務局として関わり、また今回のきのこ展のポスターデザインを頂きたいわたまいこさんの二人をお招きし、きのこの面白さ、魅力、今後の展開についてお話をしたいと思います。

日 時：8月18日（土）午後3時～5時
講 師：川村倫子氏
いわたまいこ氏
佐久間大輔学芸員

③きのこをめぐる虫達

きのこは植物とはもちろん、様々な生き物とかかわりを持っています。今回は野生のきのこにかかわる虫たちの話、栽培きのこにやってきてしまう虫たちの話をまとめました。

日 時：9月8日(土) 午後1時30分～3時30分
講 師：赤石大輔氏（京都大学）
長田庸平学芸員（大阪市立自然史博物館）

●ギャラリートーク

会期中、特別展を担当した学芸員が、毎回1つのトピックに絞って展示解説を行います。

日 時：7月21日（土）、
8月4日（土）・11日（土・祝）・18日（土）、
9月8日（土）・15日（土）・29日（土）
午後0時30分～1時
場 所：特別展会場（自然史博物館 ネイチャーホール）
参加費：無料（特別展観覧料必要）
お問合せ：植物研究室 佐久間
お申込み：不要

●きのこ相談会

きのこに詳しい学芸員や専門家が自由研究の相談、きのこの疑問などを受け付けます。お好きな時間にお越しください。きのこの持ち込み相談も歓迎です。

日 時：7月22日（日）午前10時半～午後3時
場 所：特別展会場（自然史博物館 ネイチャーホール）
参加費：無料（特別展観覧料必要）
お問合せ：植物研究室 佐久間
お申込み：不要

●公開講演会「Lepiota類（ハラタケ科）のいくつかの種について」

日 時：8月5日（日）午後1時～3時
講 師：丸山厚吉氏
場 所：自然史博物館 講堂
参加費：無料（博物館入館料必要）
お問合せ：植物研究室 佐久間
お申込み：不要

■特別イベント■

●標本の名前を調べよう

夏休み中に野山や海で採集した動物、昆虫、クモ、植物、キノコ、化石、岩石の標本の名前を、各分野の専門家がお答えします。名前を調べたい標本は、自分で整理して、できるだけ図鑑などで名前を調べ、分からなかったものをお持ちください。標本をお持ちでない方も、是非、見に来てください。土器や石器などの考古学資料は扱いません。

日 時：8月19日（日）
午前10時～12時、午後1時～4時
場 所：自然史博物館 本館
参加費：無料（博物館入館料必要）
お問合せ：地史研究室 田中
お申込み：不要

▽▲ 編集後記 ▲▽

今年の特別展はきのこがテーマです。私自身も、きのこは食べるのも好きですし、雑貨のモチーフでも可愛くて好きです。でも、どんな生き物なのか？と聞かれるとよくわかりません。今回は、標本の他にも研究に用いられた精巧な絵なども展示します。カラフルでときどき毒々しいきのこ。どんな展示になるのか、楽しみにしていて下さい！（大江）



Teachers - Museum 通信 2018 No.1

2018/07/
編集・発行：大阪市立自然史博物館

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 tel 06-6697-6221 (博物館代表番号)
http://www.mus-nh.city.osaka.jp/ (学校向けページやキッズページも充実しています)
e-mail: tm@mus-nh.city.osaka.jp



※送付先の変更や、メールアドレスの変更などあれば、ご連絡ください。経費削減のため、なるべく通常の通信はEメールで連絡させていただきます。登録時に郵送を希望された方でメールアドレスを取得した場合は上記までご連絡ください。

■特別展「きのこ!キノコ!木の子! ~きのこから眺める自然と暮らし~」を開催します■

7月21日(土)から10月21日(日)まで、特別展「きのこ!キノコ!木の子! ~きのこから眺める自然と暮らし~」を開催いたします。きのこは食卓でもよく見かける身近な生き物です。その一方で、毒があったり、カラフルな色をしていたり、道端や公園で出会うとギョッとすることもあるでしょう。また、モチーフとしても人気があり、様々なグッズやデザインにも用いられています。今回の特別展では、フリーズドライ標本や、過去から現在のきのこの研究者・愛好家たちによる精密な絵画を数多く展示します。また、東北や信州の野生のきのこの食文化など、人々の山林の自然の利用についても理解を深められるような内容になります。

シイタケやシメジは、野生ではどのように生えているのでしょうか？ マツタケはどうして今は絶滅危惧種となってしまったのでしょうか？ きのこ研究の先人達は、なぜ多くの精密画を描いたのでしょうか？ 身近なきのこを通じて、生き物や自然、環境について考えてみましょう。

●ワークシート、遠足・校外学習での見学について

今回も、特別展の見学時に利用できるワークシートをご用意いたします。「小学生向け」と「中学生・高大生向け」の2種類です。

【小学生向けワークシート】

遠足の時に利用できるワークシートです。8月中旬頃より、特別展HPからのダウンロードできる予定です。また、団体見学の下見資料としても配布します。団体見学の多い時期(10月)は、本館では、団体での見学にいただいておりますが、特別展会場ではグループ活動やワークシートを解きながらの見学ができます。※混雑状況により制限させていただくことがあります。

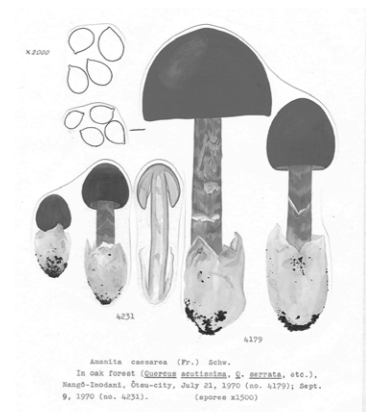
【中学生・高大生向けワークシート】

特別展HPよりダウンロードできます。高大生は、このワークシートを提示していただくと、特別展観覧料300円のところ、200円で見学していただけます。夏休みの課題にも、ぜひご利用ください。

■開催概要■

会 期：平成30年7月21日（土）～10月21日（日）
休 館 日：月曜日（ただし月曜日が休日の場合はその翌日） ※8月13日（月）は開館
開館時間：9：30～17：00（入館は16：30まで）
会 場：大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)
観 覧 料：大人500円、高校生・大学生 300円
期間内特別展フリーパス 大人1,000円、高校生・大学生600円
※本館（常設展）とのセット券は、大人700円、高校生・大学生400円。
※中学生以下、障がい者手帳など持参者（介護者1名を含む）、大阪市内在住の65歳以上の方は無料（要証明）。30人以上の団体割引あり。
※本館（常設展）、長居植物園への入場は別途料金が必要です（セット券を除く）。

主 催：大阪市立自然史博物館
後 援：日本菌学会、日本きのこ学会、関西菌類談話会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会
協 力：国立科学博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館
H P：http://www.mus-nh.city.osaka.jp/tokuten/2018kinoko/



▲きのこ研究の基礎を作られた本郷次雄氏による精密画

■8月8日(水)に、教員のための博物館の日2018を開催します■

毎年夏の恒例行事になってきました「教員のための博物館の日2018」。今年も学芸員による常設展・特別展等の解説ツアーや、体験プログラムなどを企画しています。今年の特徴としては、幼稚園・保育所など幼児教育に関わる方も参加いただけるように、子どもワークショップ「リュウグウノツカイ」や、幼児のみなさんにも楽しんでいただけるように作った紙芝居「はくぶつかんのナウマンゾウ」の紹介などもします。

教員のための博物館の日は、博物館と教員のみなさんが出会う日です。博物館と関わるはじめての一步として、ご参加いただき、さらに興味が湧いたら、さまざまな博物館行事にもご参加いただけたらうれしいです。

日時：平成30年8月8日(水)午前10:00～午後5:00
場所：大阪市立自然史博物館
対象：学校教育関係者
定員：50名(先着順) ※大阪市教育センター研修受講者40名、大阪府教育センター研修受講者30名も一緒に参加します。

参加費：無料
お申込み：必要<締切8月7日(火)>
学校名等所属・名前を書いて電子メール(tm@mus-nh.city.osaka.jp 学校と博物館連携担当)でお申込みください。



▲去年の「教員のための博物館の日」の様子

■学芸員によるリレーコラム②■ 今月は昆虫研究室の初宿 成彦 学芸員です。

～標本作りはかわいそうな殺生か?～

子どもから「なぜ人を殺してはいけないの?」と聞かれたら、どう答えるだろうか。「もし自分が殺される立場だったら嫌だろう?」というのが、双方に最も手っ取り早く、理解されやすい答えかもしれない。しかし他方で、「人類に限らず、どんな命も大切だろう、だから生き物を殺すことは全ていけない」と言ったところで、私たちの食卓には植物を含め、たくさんの「命」が並んでいる。アリの踏みつぶさずに野山を歩きまわるのは不可能だ。部屋に蚊やゴキブリがいても、窓を開けて外に逃がそうとする人はたぶんいないだろう。

このように、ほとんどの人の立ち位置は両極「人を殺す⇔いっさい何も殺さない」の間であって、個人によってその「許す/許さない」の線が引く位置が異なっている。私自身の考えは生物を採集して殺し、標本にすることについて、深淵な自然界から未知のものを見つけ出す・その時々の自然環境を記録する、など「人類共有の知識を得るために必要不可欠な科学的・文化的な活動」だと思っている。ただ、この考えに共感できない人がいるのも、仕方がないとも思っている。

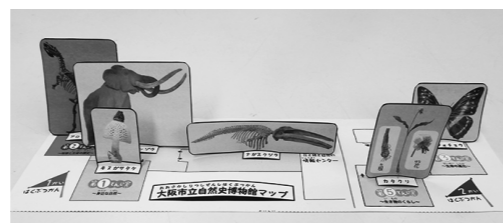
目の前にいる子供たちに、「命」をどう教えられるのかは難しい。とはいえ、偏った考えに固執して押し付けにならないようには努める必要はあるのではないだろうか。「命の大切さ」を強調するあまり、子供たちの標本作りを否定することは、未来の担い手たちに「科学する」心が育つのを、一方的に妨げてしまうことがあるかもしれない。



▲長居公園でセミ採り。セミが触れるようになった子どもも多かった。2017年7月29日、大阪市立自然史博物館の観察会にて。(写真撮影：川上弘子氏)

■小学生向けのパンフレットができました■

5月中旬より、遠足で博物館を訪れた小学校には、「子ども向けパンフレット」を全児童分お渡ししています。このパンフレットは、見学の事後学習に利用できるように作りました。ナガスクジラやアロサウルスなどの目をひく大きな展示物や、キヌガサタケなどの小さいけれどよく見ると面白い展示物を取り上げています。写真に沿って切り取って、地図の上に貼ると、小さな博物館に標本を展示しているような気分になるペーパークラフトです。写真の裏には各展示の説明も載っていますので、おうちの人やお友達と、「こんな展示を見たよ」と話しながら、博物館の見学を振り返りをしてもらえると嬉しいです。



▲切り取って組み立てるとこんな感じです。工作しながら、展示を振り返ってみて下さい。

■行事案内■

自然史博物館では様々な行事を開催しています。申込みが不要な行事と必要な行事がありますので、行事情報をチェックして、ご参加ください。博物館ホームページ「イベント」メニューからも申込みが簡単にできます。

◎ 申し込み方法

往復はがきか電子メールに、下記の内容を書いて博物館普及係あてに申し込んでください(※切日必着)。博物館のホームページからも、お申し込みいただけます。

1. 参加希望の行事名
2. 参加者全員の住所・名前・年齢・電話番号
3. 返信連絡先(往復はがきには返信用のあて名)

※定員を超えた場合は抽選することがあります。

抽選結果、集合場所、集合時間、持ち物など、詳しい内容は返信ハガキか電子メールでお知らせします。

◎ 申し込み先

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

大阪市立自然史博物館 普及係

ホームページ:

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

e-mail: gyouji@mus-nh.city.osaka.jp

■室内実習■

博物館に備え付けの研究機器を活用して、分析的な観察・実習をおこないます。

●水草の調べ方

この講座ではスライドを使って水草の調べ方を勉強します。室内実習となっていますが、ほとんどの時間は座学で、時間があれば水草の標本づくりを実際に見てもらいます。

日時：7月8日(日)午後1時～3時頃

場所：自然史博物館 集会室

講師：首藤光太郎(新潟大学)

参加費：無料(博物館入館料必要)

お問合せ：植物研究室の横川

お申込み：不要

●昆虫標本の作り方

昆虫の標本を作るのは針などを使うので、むずかしい作業と思っている方も多いようですが、なれてくれば、たくさん作れるようになります。展足・展翅・ラベル作りなど、いっしょに作業しながら学びます。

日時：8月4日(土)・5日(日)

午前の部：午前10～12時

午後の部：午後2～4時の合計4回

場所：自然史博物館 実習室

対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)

定員：標本を作る人が各回15名(定員を超えた場合は抽選)

参加費：標本を作る人1名につき500円(標本製作用具の実費)

お問合せ：昆虫研究室の初宿

お申込み：必要<締切7月23日(月)>

●平野の地下の地層の調べ方

私たちが暮らす平野の地下には、ごく新しい時代にたまった地層が厚く堆積していますが、直接観察できる機会はなかなかありません。平野の地下の地層を調べる方法の一つに、ボーリングコアの観察があります。大阪平野で掘られたボーリングコアを観察しながら、平野の地下にどんな地層がどのように分布するか、調べてみます。

日時：9月16日(日)午前10時～午後3時30分頃

場所：自然史博物館 実習室

対象：小学校5年生以上(小学生は保護者同伴)

定員：20名(申込み多数の場合は抽選)

参加費：無料

お問合せ：第四紀研究室の石井

お申込み：必要<締切9月9日(日)>

●ホネ標本の作りかた(大人向け)

自分で骨格標本を作れるようになります。ホネの標本の作り方を解説した上で、鳥の頭の骨格標本を作ってみます。今回はエミューの頭の予定。

日時：9月30日(日)午前10時～午後4時頃

場所：自然史博物館 実習室

対象：高校生以上

(定員に余裕がある場合のみ小中学生も受け入れます)

定員：24名(申込み多数の場合は抽選)

参加費：材料費などを含め1,500円程度を予定

お問合せ：動物研究室の和田

お申込み：必要<締切9月15日(土)>

■植物園案内■

●植物園案内

植物研究室の学芸員が長居植物園を案内し、その季節の植物の説明と観察を手引きします。

日時：毎月第4土曜日 午後2時30分～4時

集合：自然史博物館 玄関前ポーチ

参加費：無料(植物園入園料必要)

お問合せ：植物研究室

お申込み：不要

●植物園案内・動物編 昆虫編

7月7日(土)(昆虫編)「夏の昆虫」

8月25日(土)(動物編)「はじめての鳥の羽根ひろい」

9月29日(土)(動物編)「秋の渡り途中の小鳥さがし」

時間：午前10時～12時 ※雨天中止

集合：自然史博物館 玄関前ポーチ

参加費：無料(植物園入園料必要)

お問合せ：7月7日(土)昆虫研究室の松本

8月25日(土)、9月29日(土)動物研究室の和田

お申込み：不要